

平成 27 年 10 月 13 日

保護者各位

茨城県立石下紫峰高等学校校長 岩田 隆

本校の水害からの復旧について

この度の水害において被災された多くの方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

本校においても、9月10日はグラウンドが50cmほど冠水し、特別棟・卓球場・柏葉会館が床上浸水いたしました。その後、しばらくの間、後片付けに追われましたが、皆様方のお力添えと、生徒、職員の頑張りで、なんとかほぼ通常の状態に戻ることができました。これまでいろいろとご心配をおかけしました。皆様からのご支援、改めて感謝いたします。

また、懸案であった常総線の下妻～水海道間についても、被災してちょうど1ヶ月の10日に運行が再開されました。まだ、通常の3割の運転状況のため、学校の始業時間を10分遅らせるなどで対応いたしますが、それでも一步一步復旧が進んできているのを感じます。

今後は、保護者の皆様のご支援をいただきながら、生徒、職員で力を合わせ、学校の完全復旧と発展を目指して参りたいと存じます。今後ともよろしく願いたします。

なお、10月23日、24日に予定していた本校文化祭についてですが、9月10日から休校が続き日程的な面で保健所等への申請が間に合わなくなっていること。本校でも70名の生徒の自宅が床上・床下浸水となり、未だ避難してる生徒もいる中、さらに学校周辺にまだ片付けがままならない方がいらっしゃる中で、お祭りの形での本校文化祭を行う状況には日程的にも内容的にもないということで、誠に残念ですが、今年度の文化祭は中止とさせていただきます。今後は形を変えて、例えば何か地域の励ましや貢献になるような形や校内発表会などの形で何かできないだろうか、生徒と職員で考えてまいりたいと思います。

以上、お礼方々ご報告いたします。